

講習会：CLT 建築

日にち 2018年12月3日（月）・4日（火）

場所 Rothoblaas イタリア本社 Via dell'Adige N. 2/1 - I-39040, Cortaccia (BZ)

木質構造は過去 10 年間で多大な進歩を遂げました。それは材料の本質的な性質（優れた構造性能や断熱性、作業性、柔軟な使用、そして持続可能性）が向上したことはもちろん、接合部の技術革新が重要な一翼を担っています。欧州ではこうした背景から、CLT 建築は疑いもなく繁栄してきました。当セミナーは、CLT を用いた建設に関わる現実的な問題に対処する包括的な内容となっており、構造、耐久性、遮音性能といったテーマを扱います。CLT 建築だけでなく軸組構造についても合わせて、接合部、遮音や気密性向上のための技術細部を学びます。

スピーカー マウリツィオ・フォッレーザ教授 博士（工学）、アンドレア・ポラストリ博士（工学）、ダニエレ・カサグランデ博士（工学）、フランコ・モアール、パオラ・ブルニャーラ

参加費 650€（3泊分の宿泊費、昼食2回分、夕食3回分、宿泊地からロートブラースまでの移動込み。空港から宿泊先までの移動は費用に含まれていません。）

ドイツ・ゲーミッシュ-パルテンキルヒェンにて開催される IHF (国際木質構造フォーラム)を訪問することもできます。IHF は木質構造の分野で世界的に注目されている国際会議です。**IHF セットパックは合計で 1.150 EURO** です。（ロートブラースでの講習会 + ドイツへのバス移動 + 3日間の IHF 入場料 + 夕食）。

IHF について詳細な情報はこちらをご覧ください→<http://www.forumholzbau.com/IHF/>



プログラム

1日目

8.30-8.45 講習内容の説明

08.45 CLT ティンバーハウス

10.30 材料、生産、鉛直/水平応力の計算の基礎。

10.30-10.45 休憩

10.45 ティンバーフレーム

11.30 材料、生産、鉛直・水平応力の計算の基礎。

11.30 CLT

12.30 地震時の挙動と研究。

12.30-13.30 昼食

13.30 設計

14.30 水平力（風と地震）を考慮した木質構造の設計

14.30 FEM 解析モデルを用いた木質構造のダイナミック解析

16.00

16.00-16.15 休憩

16.15 CLT 建築の接合部の計算

18.00 ねじと鋼板

2日目

08.30 木質構造の気密性、シーリングと耐久性

09.30 木質構造の温熱環境分析と物理の基本、メンブレンの性能と適切な使用、細部の仕様

09.30 木質構造の音響

10.45 研究活動、パラメーター、規準

10.45-11.00 休憩

11.00 プラクティカルアプリケーション

12.30 様々な種類のねじ、隠し金物、シーリング

12.30-13.45 昼食

13.45 Rothoblaas 社内ツアー

14.30 建築的解説付き

14.30 多層階 CLT 建築のための接合部

15.45

15.45-16.00 休憩

16.00 従来の接合に関わる実験的研究、革新的接合金物 X-rad、

17.00

17.00 講習会修了

17.30 修了書授与

主催 ROTHOBLAAS イタリア・アルプス地域を拠点とする多国籍企業。木質構造と高所作業の安全衛生での技術革新を使命として、その分野をリードしてきました。取り扱う製品の豊富さと技術的知識を備えた広範囲な販売ネットワークによって、私たちの持つノウハウを顧客へ伝え、製品や建設技術における革新的開発のための最適なパートナーとすることができます。私たちの姿勢は、CO₂排出量の削減と生活の快適性を高め、持続可能な建設という新しい文化に貢献するものと考えています。2017年からCLT協会会員。